

広報「みやわか」があなたの生活に欠かせない「話題」と「情報」をお届けします。

宮若生活

Public Relation Magazine MIYAWAKA City

Happy Birthday
宮若市！



特集

私の夢と宮若物語。

2

2006
NO.001

旬の一品。

古里に生きる若者たちが、
丹精こめて造りあげた焼酎



若造

わかぞう 米焼酎 若宮・宮田4Hクラブ

今日は特別な日。
お気に入りの器に、とっておきの「あ
の焼酎」を注ぐ。米焼酎の芳純な香りを
楽しみながら味わう瞬間が、この上ない
至福のひとつ。これから歩む新しいま
ちを祝うには最高の一品。
米焼酎『若造』は、若宮・宮田4Hク
ラブの若者が造りあげた。
「このクラブは若宮町と宮田町の三十
歳以下の農業者が集まって活動してい
る組織です。地元に着した活動と
自分たちが作っているお米を使っ
て焼酎を造ろうとなったんです。無農
薬のお米と水にこだわったおかげで、
昨年は多くの人に飲んでいただくこ
とができました」

と会員の小河内一広さん。
今年は約千三百本を販売する予定とな
っている。瓶には、合併を祝したシールと
リアルナンバーが記されることになった。
今回の取り組みを会長の安田久雄さん
に尋ねてみると、『若造』を新市の新し
い特産品にしたいと考えています。一
年をかけて造りあげてきた焼酎は一本
一本が特別なもの。世界に一本しか
ないことを意識して番号をつけてみ
ました。それに、限定品と聞けば皆
さんつい欲しくなりませんか」と笑
顔で話す。
『若造』を酌み交わし、自分の夢や
まちの将来を語り合ってみませんか。
現在、予約を受け付けています。

c o n t e n t s

宮若生活

特集

私の夢と宮若物語。—— 3

- ・樋口 晃雄馬さん
- ・塩川 五月さん
- ・小島 萌さん
- ・牧 武志さん
- ・狩野 草原さん
- ・永尾 睦さん
- ・石松 コトさん

数字でわかる宮若市 ————— 11

宮若市の組織は、
6部27課75係でスタートします — 12

合併後の制度をわかりやすく解説
「皆さんの疑問はほっとけない」、—— 19
私がお答えします

旬の一品。————— 2

イベント&ニュース ————— 22

宮若市探訪 ————— 24

【表紙写真】

誕生日に欠かせないものとい
えばもちろんケーキ。白い生
クリームの上には、宮若市の
市章。世界で1つしかないケ
ーキを特別に作っていただき
ました。「宮若市の誕生日を多
くの皆さんと祝い、共に新し
い一歩を踏み出していきたい」
このまちに住む私たち全員の
願いではないでしょうか。



私の夢と宮若物語。

「みんなに勇気を与える声優になりたい」
「姿勢良く歩く、かっこいい女性になりたい」
「社会に役立つ大人になりたい」

「二打入魂。先輩の魂を継承していきたい」
「もう一度パリンピック出場に向けてがんばりたい」
「市民ミュージカルを通して、見る人に感動を与えたい」
「もっともっと歌がうまくなりたい」

2月10日金曜日。
これまで、苦楽を共に歩んできた古里が惜しまれつ
つも、幕を下ろしました。
しかし同時に、新しい「まち」のはじまりでもあります。
2月11日土曜日、宮若市誕生。
宮若市は、そこに住む三万六千三百三十二人の「夢のつづ
き」をかなえる場所です。
さあ、上を向いて歩こう。
「宮若物語」がはじまります。
今、三万六千三百三十二人の「夢」と共に、新たに歩みは
じめました。
今回、新しい古里に思いを寄せる七人が「夢のつづき」
を語ってくれました。

見た目だけでなく、
人間関係もきれいなまちになったら
いいなと思います。



▲吹奏楽部では、クラリネットを演奏する。
自らの演奏技術の向上だけでなく、部員全
員のレベルアップを目指し、日々奮闘中。

塩川 五月

●PROFILE ● しかわ めい ● 宮若市福丸在住で若宮中
学校二年生。生徒会副会長や吹奏楽部副部長など務めること
から周囲の信頼が厚い。アメリカのバンド「バックストリー
トボーイズ」の大ファン。名古屋までライブに行く行動力も
併せもつ14歳。

「若宮町は、人と人とのつながりが
あったかいところが好きですね。今、
近所付き合いが希薄になっていると
言われていますが、近所では隣の人
からおすそ分けとかもらえるんです
よ」と塩川さん。
生徒会の副会長をする傍ら、吹奏
楽部の副部長もこなしている。そん
な多忙な日々を送っている中、今全
力を取り組んでいるのが三年生を送
る会だ。
「先輩に、『不思議な国のアリス』
の劇を見てもらいたいのですが、ま
だ配役も決まらないんです。27日に
披露するのですが、練習期間も含め
急ピッチで作業を進めなくてはいい
ませんね」
吹奏楽部では、クラリネットを担
当。ソロ演奏がたくさんあるので楽

しいと話す一方、大きな悩みも持つ。
「部員が十八人しかいないので、音
が薄く聞こえるんです。一人だけ練
習しても効果が無いので、みんなで
ビデオとか見て研究しています。全
国には二十四人でも全国大会に出場
している中学校もあるので、同級生
としては負けたくないです。
楽器を演奏することは大好きなん
ですよ。私が演奏しているクラリネッ
トは温かい音が出るんです。フルー
トやサクソスよりもやわらかい音を
奏でます。コンサートマスターもし
ていますので指揮台に上がって
合奏することもあります。
前回と同じところで
うまくいかなかった
ときは、悔しい

気持ちでいっぱいになりますね。指
導してくれる先生の気持ちに少しわ
かるような気がしました」
将来、得意の英語を生かした仕事
をするため日々努力を重ねる塩川さ
ん。宮若市には、どのような期待を
寄せているのだろうか。
「まち全体をきれいにしたいです。
見た目だけでなく、人間関係とかも
含めてです。今の若宮町はごみが多
いまちという一面も持っています。
遠くから見たらきれいに見えても、
よく見ると、ごみが目につきます。
悪いところは改善し、近所つきあい
とかいいところは宮若市にも引き継
いでもらいたいです。そして、歩く
ときは姿勢が良く、堂々と歩くかっ
こいい大人の女性になりたいです」

樋口 晃雄馬

●PROFILE ● ひぐち ひゅうま ● 宮若市龍徳在住で宮田北
小学校に通う小学六年生。本読みが得意の晃雄馬くんは将来、
アニメの声優になる夢を持っている。今は、ゲームが大好
きで一日五時間もすることがあるとか。弟と妹のことを思う
ちょっと照れ屋のお兄ちゃん。



▲最初は練習に行くのが嫌だった柔道。し
かし、続けていくにつれて楽しくなってき
たという。得意技は背負い投げ。

「もし、僕が宮若市長だったら、み
んなが過ごしやすく、自然がいっぱ
いあって、差別が無いまちにしたい。
そのためには、市民の皆さんのきず
なが深められるような大きな体育館
を作りたいです。そこでは、子ども
たちからお年寄りまでが楽しく遊ぶ
ことができるんだ。そうして、スポー
ツが盛んなまちができてほしいな。
あと、忙しい人が楽しく暮らせる
ようにお手伝いロボットを作ろうと
思う。ご飯を作ったり、買い物したり、
みんなの役に立つようなロボットを
作って広めたいな。僕はスポーツが
大好きなので、体育館ができればい
つも通いたい。こんな市長だったら
だめですか」
お手伝いロボットといったユニー

クな発想を持つ一方で、みんなが幸
せに生活できることを願っている樋
口くん。宮若市への夢や希望を語っ
てくれた。
樋口くんは、宮田北小学校に通う
六年生。みんなと力を合わせて楽し
むことができるバスケットや柔道な
ど、体を動かすことが大好きだが、
それ以上にテレビゲームが大好き。
ただ、熱中しすぎて学校の宿題を忘
れてしまったこともあるとか。
「先生に怒られるけど、やっぱり
ゲームはやめられません」
そんな正直者でおちゃめな樋口く
ん。将来の夢について尋ねてみると
さらに目を輝かせながら話してくれ

た。
「僕は将来、アニメの声優になりた
いんだ。『メジャー』っていうアニメ
が大好き。主人公の五朗は、苦しい
ことがあってもくじけずに、野球の
練習を毎日欠かさずやっているんだ。
そんな五朗にあこがれている。五朗
は実在しないけど、その五朗の声を
出している人はいる。その人は、僕
を含めて、声だけでたくさんの人に
感動を与えているんだ。声優ってい
う仕事はすごいなと思う。僕は、本
読みが得意だから夢に向かってがん
ばっていききたい。だから、新しいま
ちも夢に向かってがんばってほしい。
今までに、若宮町で遊んだことはな
いけど、宮若市になったら遊びにい
てみたいな」と樋口くん。
時折見せるはにかむような笑顔。
その目の奥には夢実現への力が満ち
あふれていた。



小島 萌



▲小島さんが考えた宮若市の市章。「宮田と若宮の『宮』を輪で囲み合併をイメージ。審査の結果、特別賞を受賞した。

●PROFILE ● じま もえ ● 宮若市龍徳在住の高校三年生。3月には、鞍手竜徳高等学校第一期生として卒業し、社会人として第一歩を歩む。本を読むのが大好きな18歳。皆さんにおすすめしたい本は、岩井俊二さん作の「ラブレター」。

「今住んでいる環境が大好きです。地域には、それぞれ持っている良さがあるので、その良さを失わないようなまちづくりをしてほしいですね。その基盤の上に、住民の人々が『これからもずっと住んでいきたいな』と実感できることをしてほしいです。例えば、いろんな世代の人が集まれる公園なんかあったら素敵ですね」と小島さん。宮若市のまちづくりに大きな関心を寄せている。

鞍手竜徳高校の一期生として入学し、学業と部活動に励んできた3年間。いろいろな思い出が頭をよぎる。

「高校生活で一番印象に残っているのが部活動ですね。中学校から始めたバスケットをしなくて、高校で創部しました。スタートしたときは、三人だったんですよ。試合はできないし、コートが使えないので練習も満足にできませんでした。三年生の

ときでした。初めて五人そろったので試合に出場しました。試合中は夢中になってボールを追い掛けました。その結果、勝つことができたんです。今でもあの喜びは忘れません。普通の高校生では経験できないことがたくさんありました。なかでも、あいさつや礼儀、人に感謝することの大切さは身に染みています。これは、社会人になっても忘れずに持ち続けたいです」

「学校は、自分の年齢に近い人しかいませんが、会社ではいろんな年齢の人がいるので、やっていけるかどうか不安です。でも、不安と同じくらい、自分がどれだけ社会人として貢献できるのか期待もあります。楽しみです。

私は正直、自分が生まれた町の名前が変わることにさみしさを感じることはありません。それ以上に新しいまちがどのようなっていくかの『期待』の方がずっと大きいんです。宮若市は私よりもちよつと早く第一歩を踏み出していきますが、私も社会人一年生として負けないようにがんばっていききたいと思います」

それぞれの地域が
独自に持っている特色を
生かしたまちづくりが
できたらいいですね。

先輩が築いてきたものを
継承していくこと。
まちが新しくなっても伝統を
守ってほしい。



▲毎週水曜日、みっちりと2時間練習をするメンバーたち。限られた時間の中での練習だが、基本練習は欠かさない。

『力一杯たたけ』。それが先輩から受け継がれてきたことです。若宮司書太鼓はリズムとか、腕の振りとかで見せようとする太鼓ではありません。とにかく力一杯、太鼓をたたけ。演奏を終えたとき、力を余らせるようではだめなんです。迫力とか荒々しさが人を魅せるんです」と牧さん。

百四十年前の話、黒田藩の老女である加藤司書は、謀反の疑いをかけられ自刃を遂げる。しかし、家臣などからの信頼は厚く、その霊をなぐさめるため太鼓が打ちならされたのが若宮司書太鼓のルーツとなる。

その後、打ちならす人が途絶えていたが、昭和45年、脇田地区の有志により復活を遂げることになる。

そして今日まで、脈々と受け継がれてきた。

「若宮司書太鼓の特徴は、耳で聞き、体で覚えながら伝承すること。先輩から受け継がれていることを守り、自分たちのスタイルを貫くことなんです。たたくときは、無心になってたたきます。ガムシヤラになってやるだけです。また、この集まりは特に上下関係が厳しいのが特徴です。自分たちの世代で途絶えないよう、太鼓を聞く人々に感動を与えていきたい」と話してくれた。

メンバーは現在十三人で18歳から36歳まで。年齢層は幅広いが、少数



精鋭で活動している。

牧さんは、太鼓に打ち込む一方、地元行事にも積極的に参加している。宮若市にどんなことを継承していききたいのか聞いてみた。

「私は今ある人間関係を壊すことがないようにしてほしいです。脇田地区は確かに田舎だけど、そこには、きれいな水があり、田んぼがあり、そして、人がいます。新しいまちになっても先輩がこれまで築いてきたものをしっかりと継承していくこと。若宮司書太鼓をはじめ、地域の良さを生かして、これまでの伝統をしっかりと守ってほしいですね」

牧 武志

●PROFILE ● まき たけし ● 宮若市脇田在住の27歳。二十歳のとき若宮司書太鼓に入る。福岡市にある会社で働いているが、太鼓の練習を欠かすことはない。若宮町を愛し、地域の行事には積極的に参加する好青年。「若宮の米はどこに出しても負けないくらいうまい」と話してくれた。

狩野 草原

● PROFILE ● かの そうげん ● 昭和46年生まれの33歳。円通院の住職として四年目。「若宮町最後の町民体育祭を見にいったとき、義足でしたが参加したかったですね」と話す狩野さん。パラリンピックへの夢もあきらめていない。奥さんと二人のお子さんを持つ父親でもある。



「畑地区のいいところは、静かなところですね。水や空気、食べ物もいいです。年を重ね、家族と生活していくと、田舎の持ついい良さが身に染みてわかります。私自身は便利だと思っています。住みやすいし車に乗ればすぐにスーパーやコンビニに行くことができる。これって理想じゃないかなと思いますけど、どうですか」と狩野さん。

静かな山奥に威風堂々とそびえ立つ円通院。四百五十年の歴史を持つお寺の住職として、日々修行を積んでいる狩野さん。住職としての生活を尋ねてみると、「皆さんと同じだと思っていますよ。実家が自営業をしていて私の場合、たまたまお寺だったということです。特別なことをするわけではありません。父親が亡くなった、一人でするようになったときはその責任の重さを感じましたけどね。

住職という立場上、『死』について考えることが多いですね。まだ経験が足りないこともあって、言葉に重みはないかもしれませんが、自分の言葉で語りかけていきたいです」

25歳のときだった。お寺を継ぐ道を歩んでいる最中、交通事故に遭い、義足をすることになった。

「ショックでした。でも落ち込んで

いるばかりではいけないので、開き直っていくことにしました。パラリンピックの出場を目指すことにしたんです。百メートルや二百メートル走、高跳びなどいろんな競技にチャレンジしましたね。

私の目標は、新しく何かを始めるのではなく、今の自分を変形させず、そのまま大きくなっていったらいいなと思っています。パージョンプです」

そんな狩野さんが宮若市に期待するものは何だろうか。

「宮若市になったからといって特別なことは希望しません。これまでも宗教法人として国からも保護していただいていますし、私自身、身体障害者手帳をもらっており、とても感謝しています。

ただ、何でもかんでも便利にすることに疑問を感じています。便利が良くなればその分だけマイナスの部分が出てきます。その地域が本来持っている良さをそのまま残してほしいと思います」



▲円通院の住職として、修行を積む草原さん。狩野家3代目を継承する。

便利がよくなれば、それ以上に負の部分が返ってくる。それぞれの地域のいいところをそのまま残してほしい。

若い人が定住していくためには、子育てができる環境が不可欠です。安心して地域に預けられるまちづくりに期待しています。



● PROFILE ● ながお むつみ ● 宮若市上有木に在住。宗像青少年少女劇団の副団長を務めている。宮田町のまちづくり委員会を六年務め現在、新市発足事業の記念事業「市民ミュージカル」のスタッフとして多忙な日々を過ごしている。今年、趣味の「山登り」を再開させ、南アルプスを目指している。

「すごく不安だったんです。誰も応募してこなかったらどうしようかと思つて。でも、実際にふたを開けてみたら予想をはるかに上回る応募数にびっくりしたんです。たくさんの方がこのような機会を待っていたのではないかと思いましたね」と永尾さん。

これは、宮若市発足の記念事業「市民ミュージカル」の出演者募集のときの感想。

昨年の6月、宮田・若宮両町に一般公募し、それぞれの歴史をミュージカルにのせて伝えようとする取り組み。

現在、参加している四十人近くの出演者は、それぞれの配役も決まり演技、歌、ダンスをプロの指導のもとに精力的に練習を重ねている。スタッフは永尾さんを含め十人程度。衣装などの打ち合わせなど忙しい日々を過ごしている。

そんな永尾さんが宮田町に引越してきたのは、昭和62年のころ。それまで、宗像市で生活してきたため、移ってきた当初は、環境のギャップに驚いたという。



▲先生の振り付けを繰り返し覚える。現在、本番に向け猛練習中。

「出演される人にとって、今回のようなプロの指導を受ける機会はなかなかありません。私たちスタッフも一丸となって出演者を支えていきたいと思っています。一人ひとりが精いっぱい伝えようとしている『心』を感じてほしいですね」



宮若市の人口や面積を中心に、ちょっと気になる情報まで数字でまとめてみました。

市の面積は…

139.99 km²

人口は…

30,632 人

うち、男性は **14,179** 人

女性は **16,453** 人

世帯数は…

10,898 人

うち、1世帯あたりは約 **2.81** 人

幼稚園数と園児数は…

8 園、**10,898** 人

保育所数と園児数は…

4 園、**459** 人

小学校数と児童数は…

10 校、**1,586** 人

参考資料：『平成17年国勢調査』、『第51次福岡農林水産統計年報』より、幼稚園・保育所・小学校・中学校の園児・児童・生徒数は2月1日現在のものです。

※ 各数字は、宮田町と若宮町の数字を足したものを表示しています。

中学校数と生徒数は…

4 校、**856** 人

農業従事者は…

1,071 人

林業・狩猟業従事者は…

25 人

漁業水産・養殖従事者は…

5 人

第2次産業（製造業など）従事者は…

4,538 人

第3次産業（サービス業など）従事者は…

8,070 人

宮若市役所職員数は…

338 人

合併してまちの名前が
変わったらさみしい。
宮若市では両町のいいところを
続けてくれたらいいな。



● PROFILE ● いしまつ こと ● 宮若市小伏在住の92歳。
何よりも歌が大好きなおばあちゃん。若宮町で特産として品
販売されている「おこと漬け」を作ったことでも有名。今で
もほとんどの家事は自分でこなし、四人の子どもと、十二人
の孫に囲まれて生活している。

「朝5時に起床して、体をマッサ―
ジするんよ。その後、習字をして、
詩吟をする。それが終わったら音楽
をかけて、大きな声で歌う。歌いよっ
たら楽しい。なーも考えんでいいん
よ」と石松さん。その話し方や声は、
とても92歳とは思えないほどはつき
りとしている。その秘密を聞いてみ
ると、「きつと歌なんよ。毎朝大きな
声で歌うから。それがいいかもしれ
んね。電話なんかでは友達から『声
がきれいなね』とよく言われるんよ」
と笑顔で答えてくれた。

石松さんは、息子さんが経営して
いる自動車販売店の事務員として、
現役で働いている。

話を聞いている時、ひざの上に抱
えているカレンダーが気になったの
で、のぞいてみると、何やら「○」や「△」
が並んでいる。

「これは、私の『成績表』なんよ。
日付の横に書いてるのが起きた時間。
そして、ちゃんとできたものに丸を
付けていくんよ。今日の健康状態が
いいか、ラジオ体操はしたか、腹が
立ったかなど、そのほか、詩吟、歌
習字や、仕事をしたかなど。これに
全部丸をつけれるようにがんばって
るんよ」と話してくれた。

特に習字については今年も美術展

に出品するほどの腕前。始めたのは
なんと74歳からだという。老人大学
に入ってから水墨画も始めた。指を
怪我してからは大きな作品を書くこ
とは無くなったというが、いつまで
も向上心を持って書くことが上達の
秘訣だという。

今後の目標と宮若市に寄せる期待
を尋ねてみた。

「まず、成績表にすべて丸を付ける
ことから。それと、どうしてもみん
なのお世話にならなといけないので、
『笑顔』と『喜び』と『感謝』の気持
ちを持つこと。お客さんの前では、『キ
リッ』として、楽しい話や思い出を
することやね。でも、自分でできる
ことは自分でするんよ。掃除に洗濯
は欠かさんでやっとする。

宮若市のことは、若いもんがが
ばらないかん。昔、婦人会長をしとつ
て、役場の人は私たちの意見をよく
聞いてくれた。本当にありがたかつ
たんよ。『若宮町』という名前が無く
なるのはさみしい。宮若市では、二
つの町のいいところをそのまま受け
継いでくれたらいいな」



▲ 石松さんの作品。最近「良寛」
の詩を書くことが多いという。

6部27課75係でスタートします。

宮田町と若宮町の合併により、両町に機構が再編成され、新しい組織ができました。これまでになかった新しい係も新設し、住民サービスの向上に取り組んでいきます。そこで今月は、新しくなった各課の業務内容と配置などを図面を交えて紹介します。

本庁舎一階の配置図です。

転入転出や戸籍などの届け出を担当する

「市民係」と国民年金や国民健康保険を担当する「国保年金係」、市役所の電算システム管理を行う「情報推進係」の三係の「市民生活課」が新設されました。

「健康増進課」のうち、各種保健事業など

を担当する「健康対策係」は、宮若市保健センターに配置されます。

教育課は、別館の一階に移動。これにより、転出入による窓口業務を一階に配置することができました。

「都市計画課」と「建築・建築係」は新しく、「水道課」として再編成、「下水道係」は事業の強化のため課に昇格、新しく「下水道課」としてスタートします。

これまで本庁舎二階にありました、「学校

「健康増進課」の隣になります。

1

本庁舎1階配置図

総務部 市民生活課
●問い合わせ ☎32・0514

市民係
・転入転出、住民票、戸籍、印鑑登録、外国人登録などの届け出

国保年金係
・国民健康保険、国民年金、老人保健など

情報推進係
・電算システムの開発管理、セキュリティ対策など

水道課
●問い合わせ ☎32・1005

業務係
・水道料金に関することなど

給水係
・水道の給水に関することなど

浄水係
・浄水場の維持管理に関することなど

民生部 健康増進課
●問い合わせ ☎32・0515

障害者福祉係
・身体障害者（児）福祉、知的障害者（児）福祉など

健康対策係
・健康づくり、各種保健事業、予防接種、母子健康手帳交付など

老人福祉係
・老人福祉、介護保険、戦傷病者遺族等援護、高齢者対策など

※健康対策係は、旧宮田町保健センター（宮若市本城458番地2）となります。

産業建設部 建築都市課
●問い合わせ ☎32・0955

建築管理係
・市営住宅建設維持管理・住宅使用料・鉦害復旧事務など

都市計画係
・都市計画・建築協定・景観・緑化政策など

産業建設部 下水道課
●問い合わせ ☎32・3159

下水道係
・工事施工管理、設計・事業計画など

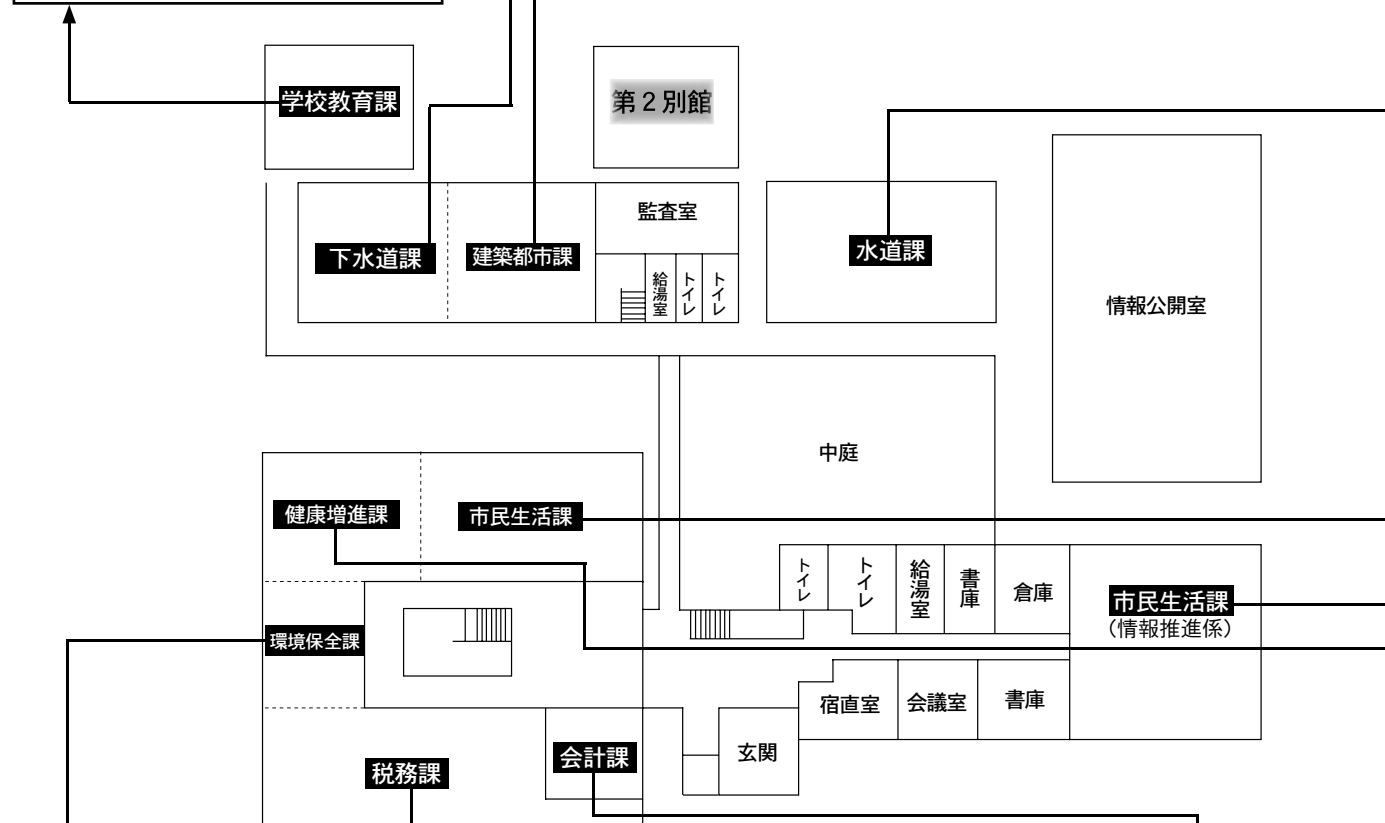
管理係
・資産管理・使用料・浄化槽設置整備など

教育委員会 学校教育課
●問い合わせ ☎32・1007

管理係
・教育委員会、学校教育計画、校舎管理など

学校教育係
・児童就学、奨学金、通学区域、学校安全など

幼稚園係
・各幼稚園の維持管理、運営など



会計課
●問い合わせ ☎32・3323

会計係
・各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など

企画財政部 税務課
●問い合わせ ☎32・0513

収納係
・市税、国民健康保険税の徴収や市税などの証明の交付

市民税係
・市県民税、国民健康保険税の賦課に関することなど

資産税係
・土地、家屋や償却資産の評価、賦課などに関することなど

民生部 環境保全課
●問い合わせ ☎32・0516

環境衛生係
・ごみ・し尿、犬の登録、不法投棄に関することなど

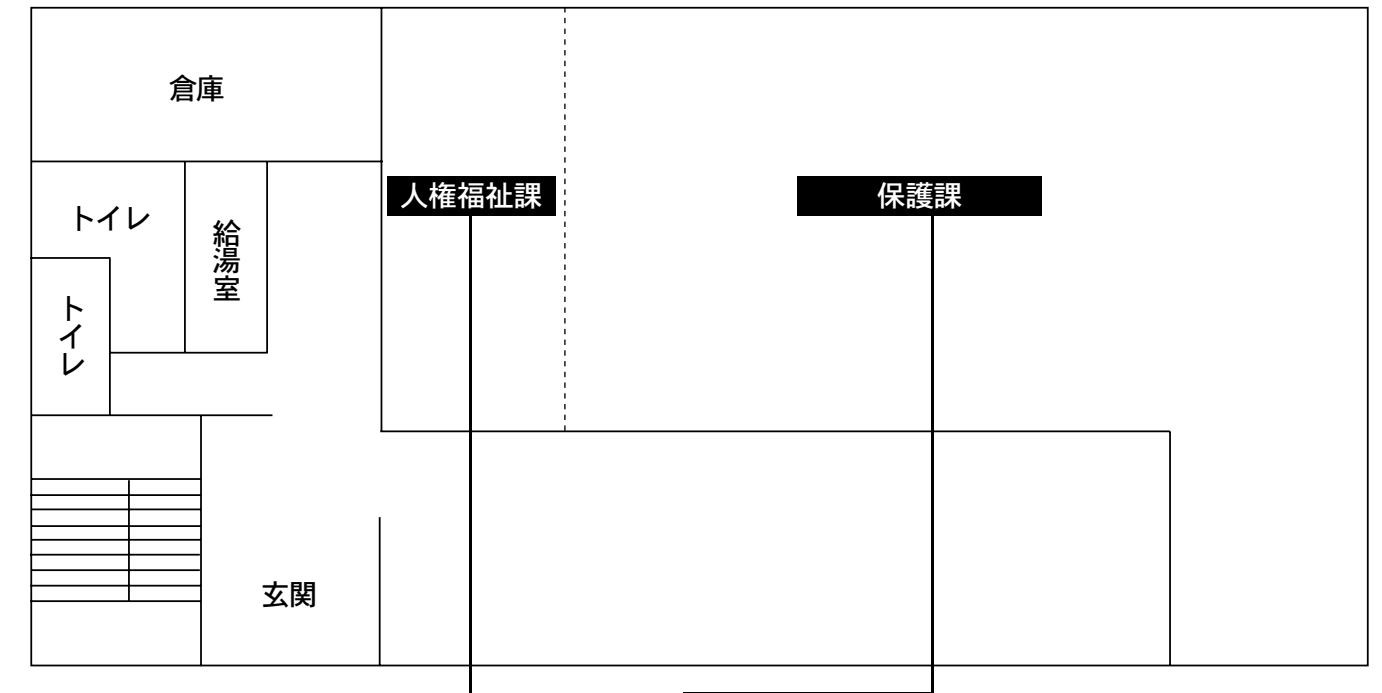
環境対策係
・環境基本計画、火葬場、じん芥施設などの運営・リサイクル推進など

別館2

1

第2別館・公民館配置図

別館2の配置図です。
一階には、「福祉事務所」として二課が配置されます。
福祉事務所には生活保護に関する業務を担当する「保護課」が新設されました。
「人権福祉課」は、児童手当などや民生・児童委員を担当する「児童母子福祉係」と各保育所が担当する「保育所係」、人権や男女共同参画を担当する「人権推進係」の三つの係で構成されます。
「社会教育課」は、宮若市中央公民館に三係が配置されます。場所は、旧宮田町中央公民館にあり、宮若市文化センターやマリールール宮田（多目的会館）と併設されています。



**民生部
人権福祉課**
●問い合わせ ☎32・0517

児童母子福祉係
・児童や母子福祉、児童手当、民生・児童委員に関すること

保育所係
・各保育所の維持管理、運営など

人権推進係
・人権・同和対策、男女共同参画に関すること

**民生部
保護課**
●問い合わせ ☎32・9377

事務係
・生活保護に関する事務など

保護1係
・生活保護に関すること

保護2係
・生活保護に関すること

宮若市中央公民館

●ところ 旧宮田町中央公民館（宮若市宮田72番地1）

**教育委員会
社会教育課**
●問い合わせ ☎32・0123

社会教育・公民館係
・社会教育総合計画、生涯学習など

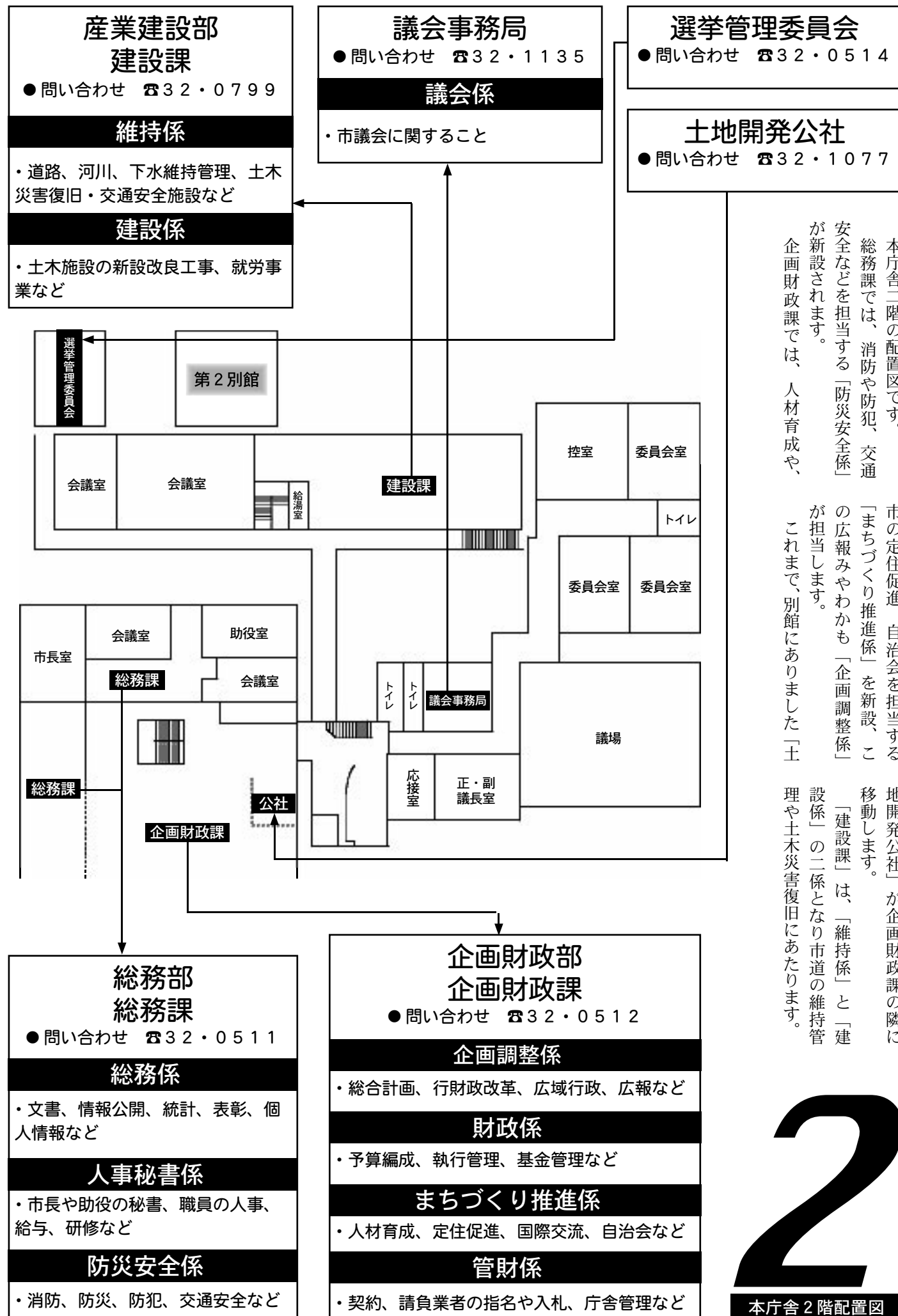
文化振興係
・文化財、地域文化振興など

スポーツ振興係
・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校開放など

※ 図書室は、2月13日、19日、27日がお休みです。

2

本庁舎2階配置図

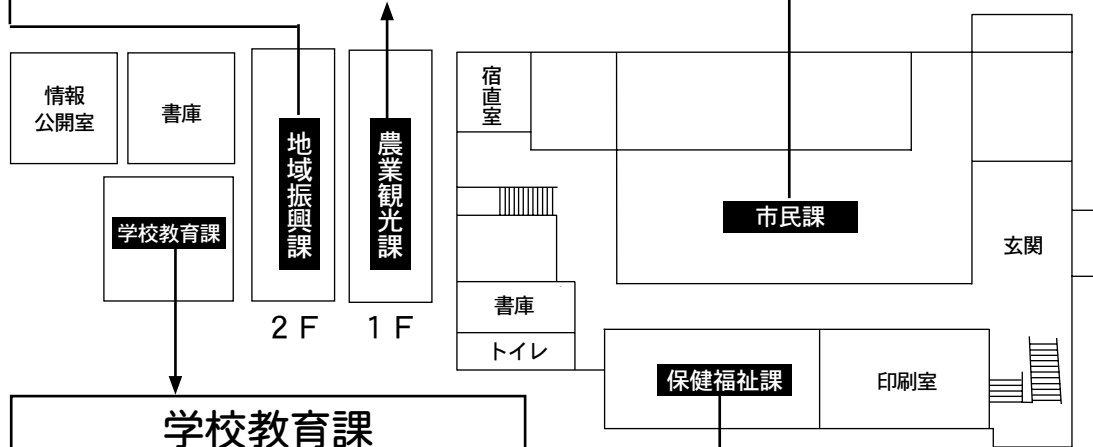


若宮総合支所

これまで、若宮町役場として利用されてきましたが、宮若市では「若宮総合支所」となります。各証明書の発行や住所変更、戸籍の届け出は総合支所の窓口でも今までどおり行えます。ただし、一部の手続きについては、本庁舎での手続きが必要な場合があります。なお、「保健福祉課・健康対策係」は新しい保健センターができるまでは、中央公民館若宮分館内に配置されます。詳しいことは、各課にお問い合わせください。

市民課 ●問い合わせ ☎52・1111
管理係 ・庁舎管理、オフトーク放送、消防、防災、財産区など
国保年金係 ・国民健康保険、国民年金、老人保健など
税務係 ・税の収納、証明、相談、水道料金、住宅使用料など
市民係 ・転入転出、住民票、戸籍、印鑑登録外国人登録などの届け出

地域振興課（2F） ●問い合わせ ☎52・1115
農業土木係 ・農林道整備、農村整備など
土木係 ・土木施設の維持管理など
農業観光課（1F） ●問い合わせ ☎52・1114
農業振興係 ・農林業振興、農業共済など
観光係 ・商工振興、観光振興、消費生活、バス対策など



学校教育課 ●問い合わせ ☎52・0103
学校教育庶務係 ・学校・給食に関すること

※ 学校教育課は本庁舎の別館になりますので係のみが支所となります。

中央公民館若宮分館 ●ところ 宮若市高野572
社会教育課 ●問い合わせ ☎52・0859
公民館係 ・中央公民館若宮分館の管理など
社会教育係 ・社会教育に関すること

※ 社会教育課は本庁舎の別館になりますので係のみが支所となります。

保健福祉課 ●問い合わせ ☎52・1113
福祉係 ・児童や母子福祉、保育所、生活保護、介護保険、障害者福祉など
人権推進係 ・人権、同和対策、隣保館、男女共同参画など
健康対策係 ・各種保健事業、健康づくり、母子保健、保健センターなど
環境衛生係 ・ごみ、し尿、犬の登録、リサイクル推進、浄化槽など

※ 健康対策係は中央公民館若宮分館内となります。

合併後の制度をわかりやすく解説

「皆さんの疑問はほっとけない、私がお答えします。」

Q

先日引越してきたのですが、宮若市の公共下水道の現状を教えてください。

30代男性 会社員

一部の区域で始まります

概要	旧町	宮若市
全体計画 処理区域面積	宮田町 548ha 若宮町 206ha	754ha
認可計画 処理区域面積※	宮田町 61ha 若宮町 77ha	138ha
計画処理人口	宮田町 24,200人 若宮町 6,800人	31,000人

※ 下水道工事が実施できる区域のことです。

旧宮田町の一部の区域は、今年の秋頃から下水道が使用できるようになります。下水道を使うことによる料金などもあるので、今後、使用できる区域の皆さんへの説明会の開催を予定しています。

● 問い合わせ 本庁下水道係、管理係 ☎32・3159



私がお答えします 後藤朋之 下水道課管理係

Q

合併したら、今使っている住所はどのように変わるんですか？

50代男性 自営業



私がお答えします 田淵裕子 市民課市民係

住所は、宮若市の後に「大字」を除いた地名が続きます。例えば、宮若市役所本庁舎の住所で説明しますと、これまででは「鞍手郡宮田町大字宮田29番地1」が「宮若市宮田29番地1」となります。また、若宮町で使われていた枝番についても、「若宮町大字福丸272番地の1」が「宮若市福丸272番地1」と変わります。

運転免許証などの変更の手続きおについて

● 問い合わせ 筑豊自動車運転試験場警察署 ☎32・0110



3月に市長選挙と議員選挙がありますが、投票所は変わりますか？詳しく教えてください。

70代男性 無職

宮若市長選挙、宮若市議会議員一般選挙は次の日程で行われます。

●告示 3月12日（日）

●投票日 3月19日（日）

投票できる人は、選挙管理委員会が作成する選挙人名簿に登録されていなければなりません。

▼満20歳以上であること（昭和61年3月20日までに生まれた人）

▼引き続き3カ月以上宮若市内に住所があること（入場券が郵送されたときは選挙権があっても、その後の転出などによって、投票できなくなる場合があります）

投票日に投票できない人は

仕事や旅行などの理由で、投票日に投票所へ行くことができない人は、期日前投票をすることができます。

●とき 3月13日（月）から18日（土）まで

●時間 午前8時30分から午後8時まで

●ところ 本庁舎情報公開室（旧宮田町役場情報公開室）、支所新館会議室（旧若宮町役場新館会議室）

●持っていくもの 入場券。なお、入場券をお持ちでない人は本人を証明

できるもの（免許証など）で確認させていただくことがあります。

病院や施設に入院・入所している人

県の選挙管理委員会が指定している病院、老人ホームなどに入院・入所している人で、不在者投票の事由に当たる人は、病院などの長に対して不在者投票の申し出をしてください。あなたに代わって投票用紙や投票用封筒の請求をしてくれますので、病院などで不在者投票をすることができます。前もって、指定されている施設かどうか確認をしてから手続きをしてください。

●宮若市の指定施設 宮田病院、鞍手共立病院、有吉病院、つくも苑、照陽園、白寿園、ケアホームやすらぎ、みやた苑、リストロ口若宮、わきたの里

長期出張や旅行の人は

長期間の出張や旅行により他市町村に滞在している人の不在者投票については、不在期間の理由を書いて、宮若市選挙管理委員会に郵便で不在者投票の請求をしてください。（不在者投票事由に該当する人に限ります）

投票用紙が送られてきたら、滞在地の選挙管理委員会に持って行き、指導を受けてください。投票できるのは、滞在地の選挙管理委員会の勤務時間に限られていますのでご注意ください。

身体に重度の障害のある人は

身体に重度の障害のある人で、身体障害者手帳、戦傷病者手帳の交付を受けている人、または介護保険被保険者証の要介護5に該当する人は、郵便による不在者投票ができます。また、郵便投票ができない場合は、事前に選挙管理委員会に届け出た代理記載人に記載をさせることができます。

郵便投票をするには、前もって「郵便投票証明書」の交付が必要です。申請は3月15日までにお願いします。証明書には有効期間がありますのでご確認ください。

市長選挙は記号式投票となります

市長選挙では、投票用紙に候補者の氏名が印字されていますので、投票したい候補者氏名の上に、備え付けられているスタンプで○の印を押してください。

ただし、期日前投票・不在者投票・点字投票はこれまでと同様、投票用紙に候補者の氏名を書く「記名式投票」となります。

（例）

平成十八年三月十九日執行	
宮若市長選挙投票 公印	
一、投票しようとする候補者一人について、その氏名の上の○をつける欄にゴム印で○印をつけること。	
二、備付のゴム印で○印を付ける場合は何も書かないこと。	
○をつける欄	候補者氏名
○	甲野一朗
	乙川次郎

第9投票区は笠松小学校体育館に変更しました

旧宮田町の第9投票区（芹田、勝負尻団地、旭ヶ丘、下有木、上有木、内山、倉久、四郎丸）の投票所が、笠松幼稚園から笠松小学校体育館に変更になります。それ以外の投票区は、変更ありません。詳しいことはお問い合わせください。

●問い合わせ 宮若市選挙管理委員会 ☎32・0514



今使っている保険証は合併後でもそのまま使えますか？

30代女性 会社員

2月末までに新しい保険証を発送します

合併により、国民健康保険証、老人保健法医療受給者証、乳幼児医療証、障害者医療証、母子家庭等医療証の保険者名、記号、番号などが変わります。今お持ちの保険証などは2月末までお使いください。新しい保険証などは2月末までに郵送しますので、3月から使うことができます。種類によって郵送方法が異なりますのでご注意ください。

**あなたは大丈夫？
国民健康保険税の納付をお忘れなく**

国民健康保険税の納め忘れはありませんか。

保険証の切り替えは3月1日ですが、平成17年分の国民健康保険税に滞納がない世帯については、保険証を2月末までに配達記録郵便で郵送します。平成17年中に1期でも納め忘れがあると、市役所や支所での窓口交付となっております。もう一度納付の状況を確認し、滞納があった場合は必ず納付されるようお願いします。

●問い合わせ 本庁国保年金係 ☎32・4004、支所国保年金係 ☎52・1111



私がお答えします
有吉孝輔 市民課国保年金係



合併後は、ごみの収集日などは変わってしまうのでしょうか？

40代女性 主婦



私がお答えします
栗田敏充 環境保全課環境衛生係

収集日、収集方法は変わりません

ごみはこれまでの宮田町・若宮町の日程表どおりに収集します。あなたのお宅に伺うごみ、し尿の収集業者も変わりません。

宮若市では新しい指定ごみ袋の販売を行います。旧町の在庫状況を判断して販売します。もちろん、現在使用しているごみ袋も引き続き使用することができます。宮若市指定ごみ袋はデザインが一新され、次のようになります。

固形燃料用ごみ袋（黄色）は2サイズとなります

色は黄色で材質も丈夫なものになります。

●ごみ袋一覧表

ごみ袋の種類	金額	枚数
固形燃料用ごみ袋（大）	840円	10枚入
固形燃料用ごみ袋（小）	682円	10枚入
もえないごみ袋（大）	840円	10枚入
もえないごみ袋（小）	682円	10枚入
ペットボトル専用袋	420円	5枚入
証紙	420円	5枚入

旧宮田町では、旧もえないごみ袋でペットボトルが出せるように併用期間を設けます。

●問い合わせ 本庁環境衛生係 ☎32・0516、支所環境衛生係 ☎52・1113

ペットボトル専用袋（透明）が新たにできます

もえないごみ袋（緑色）も2サイズとなります

旧宮田町ではペットボトルも利用できましたが、これからは「ペットボトル専用袋」をご利用ください。旧若宮町の人はこれまでどおりです。

納税

今月の納税（２月）

- **固定資産税** 第４期
- **国民健康保険税** 第11期（旧宮田町）
- **納期限** ２月28日（月）まで、今月の口座振替は22日です。
※ 納期限内に納税されないときは、納期限の翌日から完納される期間に応じ、延滞金が徴収されます。（最初の１カ月は年利4.1％、以降14.6％）
- **問い合わせ** 本庁収納係☎32・0513、支所税務係☎52・1111

納税通知書の内容を点字でお知らせします

納税通知書を送付するときに点字のお知らせを同封するサービスを行っています。対象となる税金は、「自動車税」と「個人事業税」です。

また、封筒にも「納税通知書在中」と点字で表示されたシールを貼ります。このサービスを新しく希望される人は、県税務課企画係にお申込みください。
※ ３月末日までにご連絡をいただければ、平成18年度からお知らせします。

- **問い合わせ** 福岡県税務課企画係☎092・643・3063

募集

元気に過ごしています学童クラブ入所児童募集

仕事などで保護者が昼間に家

にいない小学校低学年の子どもたちが、放課後や土曜日などに安全に生活するため、指導員が遊びを中心とした保育指導をしています。

現在市内6カ所あります。

- **対象となる児童** 原則として小学校１年生から３年生（４年生以上については、お問い合わせください）
- **申込み** 申込書は各学童保育所に用意しています。
※ 若宮学童保育所への申込みは３月11日（土）までに若宮学童保育所へ、他の学童保育所は３月10日（金）までに各学童保育所・市役所・社会福祉協議会のいずれかへ提出してください。定員に空きがあれば、期日以降も受け付けます。詳しい内容についてはお問い合わせください。
- **問い合わせ** 本庁舎児童母子福祉係☎32・0517、支所福祉係☎52・1113

体が心地よい汗を求めています宮若市ゴルフ協会会員募集



会員は、市内外を問いません。一緒にプレーしてみませんか。

- **申込日** ２月26日（日）午前9時から午後３時まで
- **申込方法** 宮若市宮田B＆G海洋センターに年会費3,000円を添えて申し込んでください。

- **問い合わせ** 宮若市ゴルフ協会事務局☎090・7388・3023

シルバー人材センターは、依頼主と高齢者の懸け橋です

日常生活の中で困ったときなどにご連絡ください。きめ細やかにお手伝いします。

- **内容** 庭の清掃、草取り、パンフレット配布、あて名書きなど

会員を募集しています

- **新人会員説明会** ▶とき＝毎月15日午後１時30分から４時▶ところ＝シルバー人材センター宮田本所
- **年会費** 1,200円
- **問い合わせ** 社団法人宮田・若宮・小竹シルバー人材センター宮田本所☎32・2400、若宮支所☎52・3369

優しさを支える看護という力を学びませんか

次のとおり生徒を募集します。

- **人員** 十数人
- **教育年限** ２年
- **受験資格** 中学卒業（見込）以上
- **出願期間** ３月6日（月）から10日（金）まで
- **試験日** ３月11日（土）
- **問い合わせ** 直方看護専修学校☎22・0512

相談

職場のトラブル円満解決労働問題相談会

専門の相談員が早期解決と良

好な労使関係確立をお手伝いします。

- **とき** ２月27日（月）午後1時から４時まで
- **ところ** 宮若市中央公民館
- ※ 秘密は厳守します。
- **問い合わせ** 福岡県筑豊労働福祉事務所☎0948・22・1149

福岡県母子寡婦福祉資金貸付制度があります

母子家庭などのお子さんが、進学や就職などを行うときのための貸付制度があります。詳しくは、下記の相談受付をご利用ください。

- **貸付額表**（自宅の場合）

学校種別		修学資金 （月額）	修学支度金 （一時金）
高等学校 専修学校 （高校課程）	国公立	18,000	75,000
	私立	30,000	410,000
高等 専門学校	国公立	21,000	75,000
	私立	32,000	410,000
短期大学 専修学校 （専門課程）	国公立	45,000	370,000
	私立	53,000	580,000
大学	国公立	45,000	370,000
	私立	54,000	580,000

※ 鞍手保健福祉環境事務所が、母子自立支援員の相談を次の日程で行います。

- **ところ・とき** ▶本庁舎＝２月22日（水）、３月15日（水）午後１時30分から４時30分まで▶支所＝３月14日（火）午後１時30分から４時30分

まで

- **問い合わせ** 本庁舎児童母子福祉係☎32・0517、支所福祉係☎52・1113

講座

どなたでも参加できますさわやか学園公開講座

- **テーマ** 「高齢者の健康管理」
- **とき** ２月23日（木）午前10時から
- **ところ** 宮若市文化センター^{ゆたか}
- **講師** 村田浩さん（保健監）
- **問い合わせ** 中央公民館☎32・0123

新しい自分を再発見若生学級公開講座

- **とき** ２月22日（水）午前10時から12時まで
- **ところ** 中央公民館若宮分館講堂
- **テーマ** 色で変身「シルバー世代のいい男、いい女」
- **講師** 中野由美さん（カラーコンサルタント）
- **問い合わせ** 中央公民館若宮分館☎52・0859

その他

市営住宅に、入居されている人へ

入居者の異動などにより増減が生じた場合、住民票は本庁や若宮総合支所で異動することができますが、市営住宅についての異動手続きは本庁で別途必要となります。

また、市営住宅に関する諸証明

は本庁においてのみ発行することになります。

※ 同居などについては認められない場合がありますので、事前に確認をお願いします。

- **問い合わせ** 本庁建築管理係☎32・0955

千石峡青少年野営訓練所、利用申し込み受け付けます

- **申込開始** ２月１日から（市外居住者は３月１日から）
- **開所期間** ４月１日から９月30日まで
- **利用対象者** ４人以上の団体
- **受付場所** 中央公民館● **使用料**（１日１人当たり）▶日帰り＝市内利用者210円、市外利用者420円▶宿泊利用者＝市内利用者315円、市外利用者630円
- **問い合わせ** 中央公民館☎32・0123

支えています、あなたの生命献血にご協力ください

- **とき** ３月7日（火）午前10時から11時30分まで、午後0時30分から４時まで
- **ところ** 宮田ショッピングセンター
- **主催** 宮若市献血推進協議会
- **協賛** 宮田ライオンズクラブ
- ※ 献血で健康チェックをしてみませんか。血液センターでは献血にご協力いただいた人へ7項目の検査成績をお知らせしています。皆さんの健康管理にお役立てください。
- **問い合わせ** 本庁健康対策係☎32・8530



犬鳴御別館

山の息吹

photo: 和田敏枝さん（若宮フォトクラブ）

目が覚めると一面の銀世界。

愛機を手に、犬鳴御別館へ走る。

人の気配のまったくない山奥は、ひっそりと静まりかえっている。

ファインダーをのぞいたまさにそのときだった。

雲の合間から一斉に光が差し込み、辺り一面がまぶしく輝いていた。

山が呼吸をしている。

夢中になってシャッターをきる。

ゆるやかな光と時間だけが、

変わることなく、ただ静かに寄せては返していた。

人知れず生まれる雪のアートがそこにあった。

りんたまJrズ

ついに宮若市がスタートしました。宮若市では、旧町の伝統や慣習、文化などがすべて継承されていきます。そして広報宮若も創刊。今まで皆さんからいただいた元気と勇気で、前を見て宮若市を励ます広報を作っていきたいと思っています。（たま）

創刊号を作ることができるのは、今の担当者だけの特権。うれしさと不安を抱えながらの編集でした。表紙のケーキは、本物なんです。なかなか構図が決まらず、二百カットぐらい撮影しました。食べるときは、ちよつと溶けていたけど、うまくかったです。たまさん、一人で食べてごめんね。これから多くの人の愛読書となってもらえるよう、いろいろな特集を組んでいきます。ご期待ください。（りん）

